

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助・(その他補助)	開始時期	令和3年4月1日	終期	令和6年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	<b>住民バス運行費補助金</b> 新潟市内における地域住民の生活交通を確保するため、路線バスが廃止になった地域や、公共交通空白・不便地域の住民組織が主体となって取り組むバス又は乗合タクシーによる代替輸送事業（住民バス）に対して支援を行う。						
款・項・目	土木費 都市計画費 都市計画総務費						
所属等	都市政策部 都市交通政策課 地域交通整備室 電話025-226-2730						

年 度		令和3年度（1年目）	令和4年度（2年目）	令和5年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	96,567	82,146	78,121
	決算(千円)	88,300	81,629	78,121
補助率		67%	63%	77%
目 標		令和3年度～令和5年度 10地区 （地域住民が主体となって、公共交通の利用を促進し、必要最低限の生活交通を確保することを目指す。） <目標が数値でない場合の評価方法> 公共交通空白・不便地域の解消		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	当初予定していた10地区で運行し、必要最低限の生活交通の確保や公共交通空白・不便地域の解消が図られた。	当初予定していた10地区で運行し、必要最低限の生活交通の確保や公共交通空白・不便地域の解消が図られた。	当初予定していた10地区で運行し、必要最低限の生活交通の確保や公共交通空白・不便地域の解消が図られた。
補助事業者による情報の公表		車内に掲示又は交通事業者ホームページ		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過充当になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 利用促進PRなどを積極的に実施し、利用者数を増加させることで収支率の向上を図る。 <g～hにおける取組> 補助金の成果をより分かりやすく検証するため、補助事業の目標である「公共交通空白・不便地域の解消」を客観的に評価できるよう、住民バスの運行距離や利用者数などの数値による指標化について検討する。			
目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること					
住民バスは、自家用車を利用できない高齢者などの日常生活に必要な移動手段として定着していることから、これまでの利用実績を勘案しながらダイヤ及びルート等の運行内容の効率化を進めるとともに、利用促進や路線の集約化の取り組みにより収支率の改善を目指す。					